

奈良工業高等専門学校生協 かき氷企画



[組合員交流]

取り組み概要

日時：2026/8/7 15:30～17:00

場所：食堂ホール

参加者数や組合員の反応：200名以上の組合員が、かき氷とそれを通じた組合員同士の交流を楽しんでいた。

背景や概要：組合員へ日頃の感謝を込めた還元企画として、暑い夏を乗り切るためにかき氷を提供した。売上は「熊本地震緊急募金」に充て、かき氷の代金と募金金額の総額で、31,110円の寄付を行った。

かき氷を通して広がる交流の輪

POINT.1

かき氷で暑さを吹き飛ばす



暑さの厳しい8月。奈良高専の生協同好会では「かき氷企画」と称して、組合員にかき氷を提供します。かき氷にかけるシロップやトッピングは同好会メンバーたちが積極的に案を出し、組合員に喜んでもらえるようなメニューの決定とチラシの作成をしました。

当日の受付や調理も同好会だけで行い、参加者が食堂の外で列が折り返したり、列に並び直してリピートする人がいたりするなど大盛況の様子。かき氷を食べた組合員たちの涼やかな笑顔が印象的でした。

POINT.2

組合員の交流の場を作る

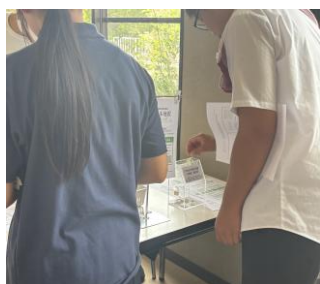
かき氷企画には多くの人を訪れました。参加者は学生のみにとどまらず、先生や学校・生協の職員さんなど、さまざまな階層の組合員の姿を見ることができました。組合員同士の交流が活発に起こっている素敵な空間でした。

普段は食堂をあまり利用しないという組合員も見られ、かき氷企画が生協の店舗を身近に感じるきっかけにもなっていました。



POINT.3

奈良高専の外まで交流を広げる



奈良高専では、既存の企画に+αを施して、組合員や社会の現状に寄り添っています。今回は、かき氷の代金を「熊本地震緊急募金」として寄付しました。組合員が代金を支払う際には、直接募金箱にお金を入れてもらう形式を取り、被災地への応援の気持ちや現地とのつながりを持てるような工夫がありました。

応援メッセージを募るチラシの配布も同時に行い、奈良高専の中だけでなく、熊本にまで交流を広げる企画となっていました。